令和８年度　心和中学校のあゆみ
―結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について―

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

Ⅰ「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

１　全国学力・学習状況調査

※英語はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式 （CBT＝Computer Based Testing）で実施。

学年		生徒数（人）	平均正答率（%）		平均無解答率（%）		平均IRTスコア
実施月日			国語	数学	国語	数学	(参考)英語３技能
３　年	学校	16	単学級のため非公表				単学級のため非公表
	大阪市	－	60	55	5.4	11.4	499
4月23日	全国	－	63.9	57.0	4.9	10.4	499

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。
　この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。
※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

調査結果とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について

成果と課題

〇全国学力・学習状況調査
　令和８年度調査においては、在籍生徒36名のうち、国語16人、数学16人、英語16人が調査に取り組んだ。
単学級のため正答率等は非公表とするが、３教科とも全国平均、大阪府平均を超える結果であった。
　国語においては、知識・技能の観点に係る問題の正答率が全国平均を大きく上回った。
　数学においては、結果としては全国平均を上回ったものの、データの活用に係る問題では全国平均を下回る結果であった。
　英語においては、４技能すべてで全国平均を上回る結果であった。
　生徒質問紙において、「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の質問に「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と肯定的に回答した生徒の割合は100%であり、「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対しても、94.4%が肯定的にかいとうしており全国平均を大きく上回っている。一方、「将来の夢や目標を持っていますか」に対する肯定的な回答割合は55.6%と全国平均を10ポイント以上下回っている。

今後に向けて

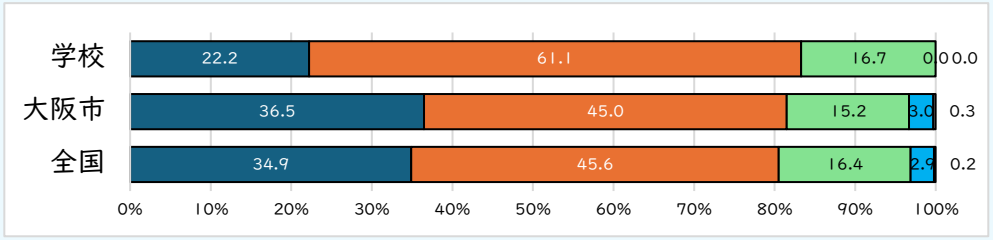
不登校を経験した期間が一人ひとり異なるため、既習事項も大きく差がある。本校においては、まずは、それぞれの学力に合わせた個別最適な学びの充実が必要であり、５教科において実施している習熟度別授業は今後も継続する必要がある。
また、生徒質問紙「自分には、よいところがあると思いますか」の問いに対する肯定的な回答割合も全国と比べ低い結果であった。将来への希望、自己肯定感を高める取組も一層進める必要がある。

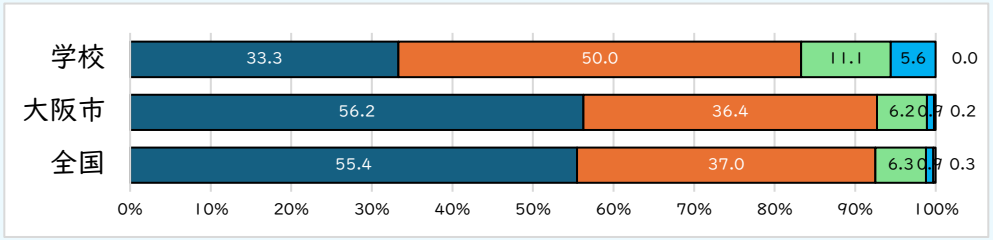
生徒質問調査より（１）

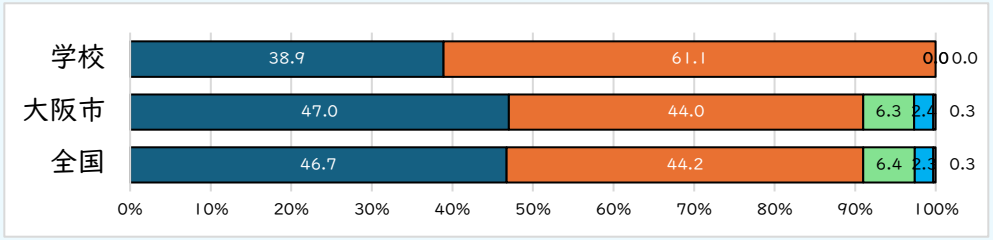
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

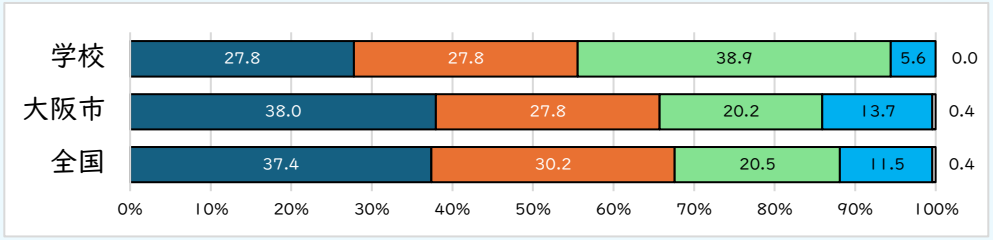
質問番号　　質問事項

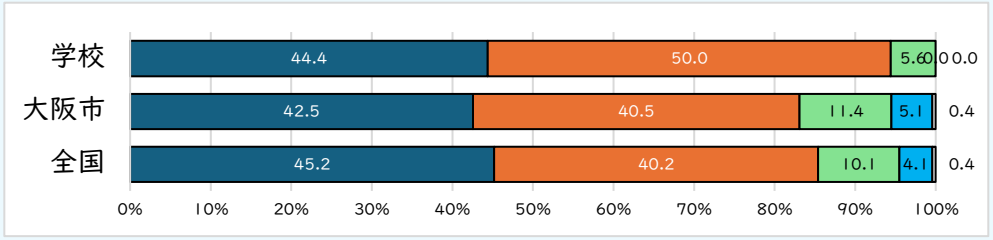
（２）	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
（３）	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか
（９）	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
（１０）	将来の夢や目標を持っていますか
（１５）	学校に行くのは楽しいと思いますか











１ している
２ どちらかといえば、している
３ あまりしていない
４ 全くしていない

１ している
２ どちらかといえば、している
３ あまりしていない
４ 全くしていない

１ 当てはまる
２ どちらかといえば、当てはまる
３ どちらかといえば、当てはまらない
４ 当てはまらない

１ 当てはまる
２ どちらかといえば、当てはまる
３ どちらかといえば、当てはまらない
４ 当てはまらない

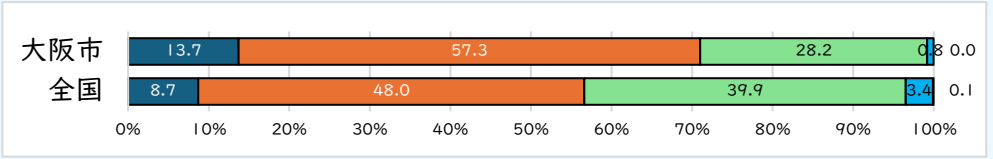
１ 当てはまる
２ どちらかといえば、当てはまる
３ どちらかといえば、当てはまらない
４ 当てはまらない

学校質問調査より

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

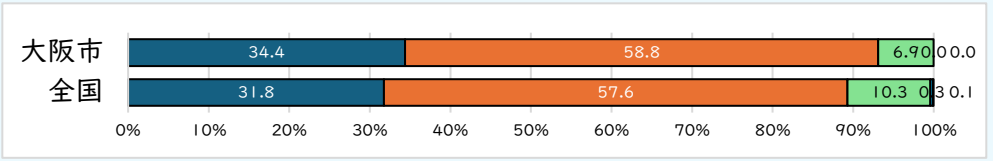
質問番号	質問事項
（30）	調査対象学年の生徒は、授業では、自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動を行っていると思いますか
（66）	生徒が学びを深めるための指導改善に向けた取組として、教員がコンピュータなどのICT機器の効果的な使い方を学ぶために必要な情報や研修、自己研鑽の機会等を十分に設けていますか
（68）	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか
（75）	生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか

【学校の回答】　2　どちらかといえば、そう思う



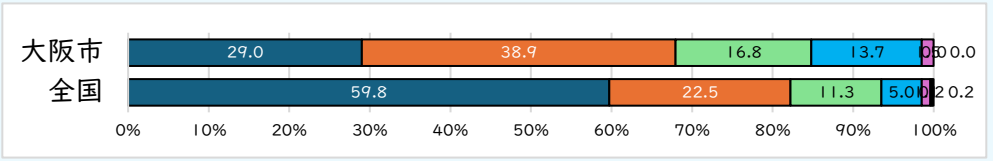
1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

【学校の回答】　2　どちらかといえば、当てはまる



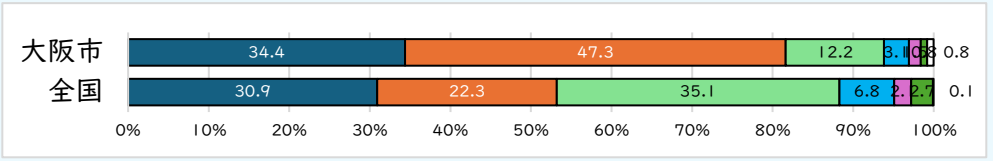
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

【学校の回答】　1　ほぼ毎日（1日に複数の授業で活用）



1 ほぼ毎日（1日に複数の授業で活用）
2 ほぼ毎日（1日に1回くらいの授業で活用）
3 週3回以上
4 週1回以上
5 月1回以上
6 月1回未満

【学校の回答】　1　毎日持ち帰って、毎日利用させている



1 毎日持ち帰って、毎日利用させている
2 毎日持ち帰って、時々利用させている
3 時々持ち帰って、時々利用させている
4 持ち帰らせていない
5 持ち帰ってはいけないこととしている
6 臨時休業等の非常時のみ、持ち帰ることとしている

